

令和6年4月3日

市政記者各位

福岡市美術館

2024（令和6）年度の展覧会ラインアップを公開しました

福岡市美術館の2024年度の展覧会ラインアップを公開しましたので、お知らせします。2024年度も充実したラインアップとなっております。

つきましては、広報にご協力いただきたく、よろしくお願いいたします。

特別展

会場：特別展示室（2階）

ADAPTATION – KYNE

会期：2024年4月20日（土）～6月30日（日）

クールな表情の女性を描いた絵画作品が国内外で大きな注目を集めている、福岡出身のアーティスト、KYNE。その国内初となる大規模個展として、過去作から最新作まであわせて展示し、その魅力を探ります。



KYNE 《Untitled》
2024年

キース・ヘリング展 アートをストリートへ

会期：2024年7月13日（土）～9月8日（日）

明るく、ポップなイメージで世界中から愛されているキース・ヘリングは、「アートはみんなのために」という信念のもと、日常にアートを拡散させることを目指しました。本展では、日本初公開作品を含む約150点の作品を通して、キース・ヘリングのアートを体感いただけます。



キース・ヘリング《アイコンズ》1990年
中村キース・ヘリング美術館蔵
Keith Haring Artwork
©Keith Haring Foundation

博多のみほとけ展

会期：2024年10月26日（土）～12月8日（日）

アジアとの窓口であった博多に所在する神社仏閣には、仏像、絵画、工芸など様々な文物が大切に守り伝えられています。本展では、コの字形をした展示室を博多湾に見立てて、それぞれの地域に伝わる仏教美術をご紹介します。



《阿弥陀如来坐像》
平安時代 10世紀
円覚寺（博多区）蔵

企画展

西日本シティ銀行コレクション展

会期：2024年9月14日（土）～10月14日（月・祝）

会場：特別展示室（2階）

元・福岡シティ銀行（現・西日本シティ銀行）頭取の四島司氏は、国際的に活躍する作家による現代美術コレクションを形成しました。当館が寄託を受けている作品の中から、クリスト、ジャクソン・ポロック、辰野登恵子など27点を紹介します。



クリスト《Wrapped Chair》1966
西日本シティ銀行所蔵
© ADAGP, Paris & JASPAR,
Tokyo, 2024 G3442

あらがう

会期：2024年9月14日（土）～12月15日（日）

会場：近現代美術室B（2階）

戦争や災害、格差などで苦しむ人々が存在する現代、私たちはどのように立ち向かうべきなのか。過去と現在、神と人、生と死などをキーワードに、映像や絵画作品で考えます。



石原海《重力の光》2022年

生誕260年 世を観る眼 白酔庵・吉村観阿

会期：2024年11月27日（水）～2025年1月19日（日）

会場：古美術企画展示室（1階）

吉村観阿(1765-1848)は、江戸時代後期、茶の湯道具の“目利き”で人生を切り開いた人物です。大名茶人・松平不味や新発田藩主・溝口家に入出入りし、蔵品の鑑定や数寄道具の取り次ぎで活躍。そうした実績から観阿の箱書きはそれ自身が価値となり、現代に至るまで高く評価されています。本展は観阿が大名茶人らに取り次いだ茶道具や、江戸における様々な文化人との交流を物語る資料を展覧し、知られざる目利きの足跡とその審美眼にせまります。



《白呉須獅子蓋香炉》
明時代 16～17世紀 個人蔵

コレクション展・教育普及プログラム

美術館ウェブサイトにて年間スケジュールを公開しました。下記 URL よりご覧いただけます。

<https://www.fukuoka-art-museum.jp/assets/pdf/fukuokaartmuseum2024.pdf>

共通	開館時間	午前9時30分～午後5時30分 (7月～10月の金・土曜日は午前9時30分～午後8時) ※入館は閉館の30分前まで
	休館日	毎週月曜日 ※月曜日が祝日・振替休日の場合はその後の最初の平日
	観覧料	<コレクション展・企画展>一般200円、高大生150円、中学生以下無料 <特別展>各展示会による

【問い合わせ先】

経済観光文化局 美術館学芸課 (担当：山田、宮田、忠、後藤)

TEL: 092-714-6051